

平和と手話通訳を考えるつどい

はか ひぼくたいけん きゅうりくぐん ひふくししょう  
「ビルがお墓に見える～被爆体験と旧陸軍被服支廠」

2022年7月30日(土)

13:30～15:30

広島平和記念資料館

東館地下1階 会議室(1)

広島市中区中島町 1-2



講師:切明千枝子さん 手話通訳付きます



1929(昭和4)年 11 月生まれ

県立広島第二高等学校 4 年生(15 歳)の時、比治山橋東詰めにあった  
学徒動員先のたばこ工場<sup>1</sup>で被爆。

ガラス破片と倒壊した建物による怪我を負うが、火傷は免れる。

終戦後、脱毛、紫斑、高熱などに悩まされるも

両親の看病のおかげで元気を取り戻す。

自分は下級生たちの悲惨な死を後世に語り継ぐべく生かされた。

証言が平和を守ることにつながり何よりの供養になるのではと、

93 歳の今でも被爆体験証言者として活動をされている。

母親が支廠に勤務していて幼少期から出入りしていたので支廠への想いが強い。

参加費:無料 事前の申込みが必要です。

どなたでも大丈夫です。どうぞ申し込んでください。

申込先: 広島市ろうあ協会

NPO 法人広島県手話通訳問題研究会 西部ブロック

広島市東区光町 1 丁目11-5-508

TEL082(568)6770 FAX 082(568)6771

アドレス hirotsuuken@gmail.com



申し込み QR コード

★ 定員:40 名 先着順 会員でなくても参加できます。

★ 定員に達しましたら締切ます。早めの申込みをお待ちしております。

氏 名	
連絡先	(携帯・電話・FAX 番号、メールアドレス等、当日までに連絡できる媒体)